

一般社団法人日本薬学生連盟 2025年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	田代莉咲子
立候補する役職	副会長内務理事
大学/学部/学科	昭和大学/薬学部/薬学科
学年	2年
所属	内務部、外務部、財務部、国際渉外部、広報部、プロモーション部、交換留学委員会、地域連携委員会、薬学総合委員会
日本薬学生連盟での活動経歴	2023年 外務部、公衆衛生委員会 所属 2024年 副会長
立候補動機	<p>私は、約半年間、副会長として多くの経験を積むことができました。最初は不安もありましたが、勇気をもって一步を踏み出すきっかけを与えてくれたのは、本部執行部やスタッフ会員の仲間たちでした。誰も初めてのことには不安を覚えるものです。だからこそ、私が日本薬学生連盟の活動を通して得た貴重な経験を、今度は会員の皆様に還元したい。そして、活動に参加する「きっかけ」を提供することで、会員一人ひとりが新たな挑戦へと踏み出せる環境をつくりたいと考えています。この想いを胸に、副会長内務理事に立候補いたします。</p>
問題点と改善案	<p>・イベントの数や参加者の数の減少 →会員にニーズ調査を行う</p> <p>現在の低学年の学生たちは、高校生活の大半をコロナ禍で過ごしてきました。本来、高校生という時期は行動範囲が広がり、学生生活の楽しみ方が多様化する時期です。しかし、学校行事やクラスでの行事が制限された影響で、それまでは大人数で楽しむことが一般的だった活動が、少人数や個人で楽しむスタイルへと変化していったと考えられます。</p> <p>このような傾向は課外活動にも影響を及ぼし、単に楽しむことを目的とする活動から、大会やコンテストへの参加、学習塾通い、アルバイトなど、受験対策や自己成長を優先する学生が増加しています。こうした背景を持つ低学年の学生にとって、課外活動は単なる楽しみではなく、勉強や進路、就職に役立つ学びを得られる場であることが、学生団体としての新たな魅力の一つになると考えられます。</p> <p>このような状況を踏まえ、まずは会員のニーズを把握することが重要です。アンケートを通じて、日本薬学生連盟に入会したきっかけや目的、活動への満足度、学生団体で実現したいこと、学生団体に求めている要素、参加したいと感じるイベントの種類等を詳しく調査します。この結果をもとに、委員会で企画を立案し運営することで、会員のニーズに応じたイベントを実現し、参加者の増加、満足度の向上を目指します。</p> <p>・低学年の会員の減少 →1年生の入学時に学内で団体紹介を行う</p> <p>低学年の会員が減少している理由の一つに、日本薬学生連盟のような学生団体の存在を知らない学生が多いことが挙げられます。現在、非会員が団体の情報を得る手段としては、Instagram等のSNSや公式ホームページの閲覧、友人からの紹介が主であり、自発的に情報を探しに行かない限り、団体の活動を知る機会が限られています。</p> <p>実際に今年度、学内で団体紹介を行った際には、「団体の存在を初めて知った」という声が多く寄せられました。また、団体紹介をきっかけに入会を希望する学生も現れたことから、情報が届いていないというだけで、実際には興味を持つ学生層が存在すると考えております。</p> <p>そこで、1年生が入学するタイミングで団体紹介を行い、情報を受動的に受け取る機会をつくることで、低学年の会員数増加を目指します。</p> <p>また、団体紹介スライドのテンプレートをつくり、自分の学校だけではなく、本部執行部、スタッフ会員の所属学校でも実施しやすい環境を整えていきたいと考えております。</p>

	<p>・本部執行部内での情報共有が不十分 →本部会議で、報告だけではなく、認識のすり合わせを行う</p> <p>現在、イベントの参加者からの事後アンケート結果はイベントごとに報告されていますが、報告書を通じて本部執行部への共有のみが行われ、全体で確認する機会が限られています。このため、情報共有が不十分であると感じています。</p> <p>そこで、イベントごとの意見や反省点、改善点をまとめたスプレッドシートを作成し、過去のイベントや他部署の反省を次の企画に生かせるようにしたいと考えています。この取り組みにより、より高い満足度を得られるイベント運営を目指します。</p> <p>また、全体予算案は内務統括理事が作成し、本部会議で共有されていますが、各部署や各企画ごとにどの程度の予算が割り当てられているかについて、本部執行部全体で共通認識が不足していると感じています。そのため、予算案を共有後、各部署からの意見を反映させ、予備費の状況等を本部執行部全員が把握できるようにしていきたいと考えております。</p>
<p>活動計画</p>	<p>[上半期]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体予算案の作成 ・年間の活動方針の決定 ・年間スケジュールの作成 ・新入生歓迎会 ・学内での団体紹介 <p>[下半期]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計報告書の作成 ・上半期の反省を踏まえた活動方針の見直し ・薬学生ジャンボリー ・年会 <p>[通年]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員、スタッフ登録の手続き ・メンバーリストの登録、送信、管理 ・協力団体、OBOG会との連絡 ・団体の金銭管理 ・各種支払い ・経費立て替えの補填
<p>所信</p>	<p>私は今年度、副会長として活動し、スタッフ会員だった頃よりも多くの経験を積み、活動の幅が広がりました。その中で、仲間がいるからこそできる経験があることを学びました。</p> <p>イベントに参加し、同じ目標を持つ仲間を見つけ、共に悩み、共に楽しむ。異なる大学に通っていても、離れた場所に住んでいても、日本薬学生連盟には切磋琢磨しあえる仲間がいることを実感しました。</p> <p>私自身が感じているこの魅力を、より多くの薬学生に伝えていきたいと考えております。</p> <p>また、来年度は副会長が二人体制になるため、新たな業務が加わり、今年度とは副会長の役割は変わると予想されます。本部執行部を経験し、自分のことだけでなく周りのことも見えるようになった今、より一層本部執行部員のサポートに尽力し、本部執行部の活動しやすい環境作りを進めていきたいと考えております。</p> <p>多くの会員に活動に参加するきっかけを提供し、会員が仲間とともに様々な経験を積むことができる団体作りに努める所存です。</p>